

第11回ワーカーズ・コレクティブ全国会議in大阪



2月8日・9日開催



「いっちょやったるか！！ 働く人の協同組合 ええんちゃう？」

大阪で第11回全国会議が開かれました。参加者総数435名。1日目は全体会、2日目午前中は分科会、午後は自主企画・ツアーと、充実した内容の学習と交流が繰り広げられました。埼玉からも14ワーカーズ35名が参加し、それぞれの収穫があったようです。

「全体会」

たくさんの刺激と元気をもらいました

2年前は千葉で大嵐、今年は60年に一度の大雪。WNJの全国会議は、いつもなぜか大荒れの天候。けれども、ようやく到着した大阪市立大学、学術情報総合センターの会場は始まる前から熱気に包まれていました。



受付準備

ワーカーズは、それぞれにそのワーカーズらしさを発揮して地域でなくてはならない事業展開を行っている。被災地でWNJの説明会から立ち上がったワーカーズ、大阪のおばちゃんのたすけあいワーカーズなど、私たちの仲間が全国で元気いっぱい活動している事例が報告されました。

最後に大阪市立大学4年の川口加奈さんから「ホームレス状態を生み出さない日本の社会構造をつくる取組み」というNPOの活動報告がありました。ホームレス状態にある人を就労支援というかたちで直接支援するだけでなく、働く人がある程度の収入を得ることができる取り組みなど、活動の発展と、企業も巻き込んだ社会貢献の拡がりがあるところに会場からは大きな拍手が送

ワーカーズは、それぞれにそのワーカーズらしさを発揮して地域でなくてはならない事業展開を行っている。被災地でWNJの説明会から立ち上がったワーカーズ、大阪のおばちゃんのたすけあいワーカーズなど、私たちの仲間が全国で元気いっぱい活動している事例が報告されました。



川口加奈さんの報告

られました。

私たちワーカーズが働くことにより地域貢献し、自分らしい働き方を作り、協同することで、働くことが単なるお金を得ることだけに留まらず、社会的活動となっているところに共通点があると思いました。

いろいろな刺激を受け、元気をいっぱいもらいました。

(てとて・仲谷)



2日目の分科会(第8分科会)

「第2分科会：生協の業務受託のあり方」

初心に帰って事業の問題を共有

過去に経験したことのない大雪の中 各ワーカーズは無事に配達できているかな？と気をもみながらの参加となりました。

初日の全体会では多種にわたる報告があり、中でも「ホームレス状態を生み出さない日本の社会構造をつくる取組み」という報告は2010年と若い設立ながら、物事をキャッチする力があり発想力が豊富で、それを事業に結びつけている！と、とても刺激を受けました。

2日目は『生協の業務受託の在り方：パートナーシップの状況と全国配送ワーカーズの現状』の分科会に参加しました。グリーンコープ生協AMITY・エスコープ大阪かぐや姫・生活クラブ東